

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

団体名：特定非営利活動法人ピュアスポーツクラブ

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成果 ・ 波及 効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	1
		(評価理由)：事業後のアンケート結果から、運動に関心を持ち継続したいという参加者が多くいたため	
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
		(評価理由)：幅広い広報や、広い会場の確保などクラブだけではできない部分をやっていただいたことで、多くの市民に事業を知ってもらい・参加してもらうことができたため	
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	1
		(評価理由)：運動実施率が低い年代・同じぐらいの子供を持つ母親を講師としたことで参加者から共感を得ることができた。内容に関してもアンケートの結果はとても良かった。	
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	1
		(評価理由)：途中で目的や内容を変更することなく実施できたため	
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	1
		(評価理由)：大幅な変更はなかったため	
6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	1	
	(評価理由)：本格実施が決定している		

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

多くの市民に当クラブの活動の周知を図ることができた。それにより継続事業を展開しやすくなった。

協働して事業を行う上での課題

継続して活動を行える会場の確保、広報の偏り

問3 平成31年度静岡市協働パイロット事業で実施した事業について、令和2年度以降も継続して事業を実施する予定はありますか。

- ① 現在実施している
- ② 今年度実施する予定である
- ③ 今年度は実施しないが、来年度以降実施する予定である
- ④ 実施する予定はない

問4 問3で①、②、③と回答した方にお聞きします。貴団体が実施している、又は予定している事業の内容について、簡潔にお書きください。

子育て中の母親と子供を対象にした運動教室を児童館や幼稚園などで行う予定。(現在コロナウイルスの影響で行えていません)

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ・提出先 静岡市 市民局 市民自治推進課 担当：青山
〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
TEL：054-221-1372 FAX：054-221-1538
メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： スポーツ振興課

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業成果・波及効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	2
	(評価理由)：日頃運動する機会のない教室参加者にとって、運動に興味をもつきっかけになった。		/
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
	(評価理由)：指導者から運動に関する専門的な知識を伝えることができた。		/
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	2
	(評価理由)：団体の特色を活かしたプログラムが提供できた。		/
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	1
	(評価理由)：子育て世代に運動の機会を提供することができた。		/
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	2
	(評価理由)：特に問題なく事業実施できた。		/
6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	1	
(評価理由)：当課が実施しているスポーツ教室と連携した取組みを検討している。		/	

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

市民団体との協働により、参加者に対し、市職員だけではできない専門的な指導を行うことができた。

普段スポーツをする機会を確保しづらい子育て世代に対し運動機会の提供ができ、スポーツ実施率向上に寄与できた。参加者アンケートでも、今後も運動を続けていきたいという意見が多かった。

協働して事業を行う上での課題

今回は静岡大学の体育館を借りて実施したが、継続して事業を行うためには、日常的に活動できる会場を確保することが必要。空きのある学校施設や市保有施設の活用や、民間企業や大学等、施設を保有している機関との連携も検討する必要がある。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山（内線：81-2283）